

基幹相談支援センターは、地域における相談支援体制の拠点として、障害のある人やそのご家族の困りごとに対し、地域のさまざまな機関と連携して対応しています。ぜひご相談ください。

【主な業務内容】

- 総合相談
障害に関する相談に対応し、困りごとや自立した生活に向けた関係機関への調整を行います。
- 相談支援体制の強化
相談支援事業所と連携し、福祉サービス等が活用しやすい環境づくりに取り組んでいます。
- 権利擁護・障害者虐待防止
障害のある方の権利を守る活動を推進しています。また、虐待を予防する活動にも取り組んでいます。

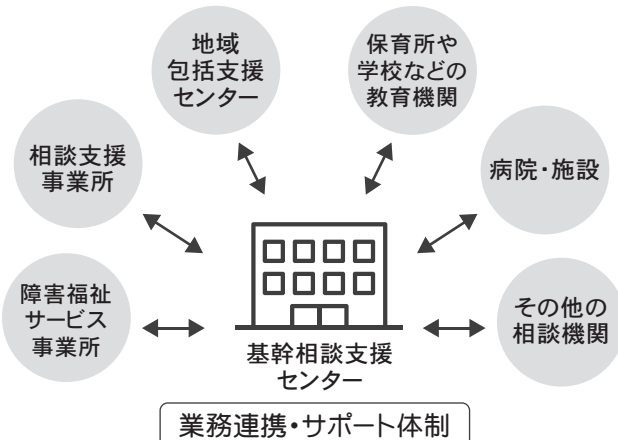


市では、令和6年4月に地域の相談支援の中核を担う香南市基幹相談支援センターを設置しました。

福祉

香南市基幹相談支援センターを設置しました!

問 福祉事務所 ☎57-8509



CLOSE UP INFORMATION

7月1日から国民年金保険料令和7年度一般免除の申請受付が始まります。令和7年度の対象期間は、令和7年7月から翌年6月までです。

また、過去の未納期間については、申請書を提出する日から2年1か月前までさかのぼって申請できます。一般免除の申請を希望する場合は、市民保険課または南国年金事務所へご相談ください。

■必要なもの

- ・基礎年金番号またはマイナンバーのわかるもの
- ・退職による免除を希望する方：申請年度または前年度の「雇用保険受給資格者証」または「雇用保険被保険者離職票」の写し(※)

※過去に同一の退職による免除申請をし、証明書類を提出した場合は不要



年金

国民年金保険料一般免除の受け付けが始まります!

国民年金保険料一般免除は、保険料を納めることが経済的に困難な場合(所得が一定以下の場合や失業した場合等)に保険料の納付が免除もしくは猶予される制度です。

■申請場所

南国年金事務所、市民保険課または各支所

未納のままにすると!

①病気やけがで障害や死亡といった不測の事態が発生したとき、障害年金・遺族年金を受け取ることができない場合があります。事態が発生してからあわてて過去の分を申請しても保険料納付要件に算入されません。

②老齢基礎年金を将来受け取ることができない場合があります。老齢基礎年金を受け取るためには、保険料納付済期間(厚生年金保険や共済組合等の加入期間を含む)と保険料免除期間などを合算した期間が、10年以上必要です。

問 南国年金事務所 ☎(088) 864-1111

市民保険課 ☎57-8506

風水害に備え

「マイタイムライン」を作ろう!



防災の ススめ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501

マイタイムラインとは

風水害に備えて一人一人の家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ避難行動を考えておくものです。ハザードマップで自宅周辺の洪水や土砂災害のリスクを確認し、「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理することによって、いざという時に慌てず安全に避難行動をとる助けになります。

「マイタイムライン」を作成して、それぞれの避難に必要な情報・判断・行動を把握し「自分の逃げ方」を考えておきましょう。



「マイタイムライン」
市ホームページ

香南市洪水・土砂災害
ハザードマップ▶



〇〇家の「マイタイムライン」記載例

		2~3日前	前日	半日前	数時間前	0時間
	警戒レベル	1	2	3	4	5
香南市からの お知らせ	避難情報			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
	必要な行動	・ハザードマップで自宅の危険を確認! ・避難を開始するまでに事前の準備をしておきましょう!		避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難しましょう!	危険な場所から全員避難しましょう!	既に避難ができず命が危険な状況です! 命を守る行動をとしましょう!
気象庁などから発表 される防災気象情報	大雨		大雨注意報	大雨警報(浸水害)		大雨特別警報(浸水害)
	暴風		強風注意報	暴風警報		
	土砂災害		大雨注意報	大雨警報(土砂災害)	土砂災害警戒情報	大雨特別警報(土砂災害)
	洪水		洪水注意報(氾濫注意情報)	洪水警報(氾濫警戒情報)	(氾濫危険情報)	(氾濫発生情報)
	(河川水位)		どこで確認できる情報かも書いておく 氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	

ハザードマップで確認した避難先を記入

	2~3日前	前日	半日前	数時間前	0時間
〇〇家避難計画	避難場所	〇台風の今後の状況を調べ始める⇒気象庁		〇防災無線、市メール配信サービス、市ホームページ等で避難所開設情報を確認	
	〇〇防災コミュニティセンター	〇ハザードマップを再確認⇒市HPなど		〇お隣さんに声をかけて早めに避難を開始!	
	避難方法	〇不足している持ち出し品があれば早めに買い足しておく		〇上流の雨量を調べ始める	
	徒歩10分	〇小学校の対応を確認する(娘)		〇携帯電話の充電	
		〇隣のおばあちゃんと一緒に避難することを伝える		避難するタイミングを決めた理由や絶対に忘れたくない持ち物などを自由に記入	
		家族のうち誰の行動かわかるようにしておく		〇物干しざお、自転車など飛びそうなものは家の中へ	
				避難ポイントメモ	
				隣のおばあちゃんと一緒に避難するから早めの避難が必要!	